

下白水村について

春日市は、かつて那珂郡の一部であった5村が合併し、発足しました。

その中でもこの地域は、清らかな湧水が多いことから「白水(しろうず)」という名が付けました。

「下白水村」は、1590年代から1610年代頃に、白水村から上白水村と下白水村に分かれて誕生しました。



▲春日市に属する旧村

春日市の歩み

明治22(1889)年
那珂郡5村→春日村

昭和28(1953)年
春日町(町制施行)

昭和47(1972)年
春日市(市制施行)

旧下白水村に数多く残る『板碑』

板碑は、主に供養塔として中世から使われるようになった石碑の一種です。今回の散策ルートにある板碑は、民家の敷地内にあり、屋敷神としてまつられています。

板碑の表面には、仏像の代わりに、梵字(古代インドの文字)が刻まれ、下白水地区にある板碑には、キリーク(阿弥陀如来)やバク(釈迦如来)などが刻まれています。



▲キリークが刻まれた板碑



▲キリーク(阿弥陀如来)



▲バク(釈迦如来)

地域の方々と一緒に歩いて作ったマップです

地域に残る文化財の魅力を知り、実際に歩いて、伝えることを目的とし、令和5年11月18日(土)と25日(土)に「文化財マップ作りワークショップ 下白水の歴史を知ろう!伝えよう!」を開催しました。

1回目は、下白水北公民館で講師の話の聞き、地域の文化財を見て回るフィールドワークを行いました。

2回目は、参加者同士で、地域の懐かしい昔話をしながら、地図に気づいたことや感じたことを書き込み、熱心にマップ作りに取り組みました。

ぜひ皆さんもこのマップで、下白水の歴史を訪ね歩いてみてください。



▲フィールドワークの様子



▲マップ作りの様子

企画・編集：春日市 協働推進部 文化財課 発行日：令和6年4月

〒816-0861 春日市岡本 3-57 (春日市奴国の丘歴史資料館内)

TEL:092-501-1144 FAX:092-573-1077 Email:nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp

春日市文化財マップ

下白水の歴史を知ろう!伝えよう!



歩いて訪ねよう！ 下白水地区の文化財マップ



③
あまうらじょう
「天浦城」の推定地
『筑前国続風土記』には、戦国時代末期に筑紫氏の城があり、嶋鎮慶がこの城の城主だったことが書かれている。令和5年度に下白水北6丁目86番地などを発掘調査したところ、大溝が発見された。この大溝は、天浦城の外堀の一部と推定される。



②
しもしろうずおつかこふん
下白水大塚古墳
周溝を持つ前方後円墳で、全長は約55m。前方部や墳丘は、近世以降に共同墓地として利用されたため、著しく原形が損なわれている。昭和36年の調査時には、古墳の前方部から、祭祀に使っていた人形や亀の甲形の土製品が見つかった。平成5年に市の指定史跡となった。



④
こすいてんじんしゃ
古水天神社 神社
白水八幡宮の摂社。祭神は埴安命・菅原神。観音堂は、白水八幡宮境内でまつられていたものを、後に古水天神社内に移した。子どもの神としてまつられていた。郡中三十三カ所の札所でもあった。



こすいかんのん
古水観音

泉地区は土地が低く、湿地のため、れんこん畑が広がっていた。地元では方言で、深田(じると)と呼んでいたらしい。

約6mの高低差がある。崖跡は城の名残りか。

保存樹木 やまもも

天浦城推定範囲

供養塔は、昔、春日西小学校の近くにあった

スタート！

下白水北公民館



①
そうば くようとう
宗葉どんの供養塔(墓)
千ばつのため年貢の免除を願い出た庄屋の宗葉は、願いが聞き入れられたのに勘違いして(耳が不自由だった)かぶりを振ったため、無礼打ちになってしまった。千ばつの年に火の玉が上がることから村人はそれを「宗葉火」と呼んだ。



⑤
にしむらてんじんしゃ
西村天神社 神社
ご神体は神鏡。祭神は菅原天神。昔は、この地の地名から「横棟天神」と呼ばれていた。その後、古水天神社を「東天神」と呼ぶようになったことから「西天神」と呼ばれ、現在の名になった。

保存樹木 えのき



庚申塔

道案内の神として信仰されている。この庚申塔は、2度の移動を経て、現在は境内にある。

泉交差点

③
白水の井(走り井)
この場所は、勢いよく水が湧き出ることから「走り井」と呼ばれた。湧水の周りを石や木で囲い、生活用水として利用された。

ゴール！



庚申塔



⑥
はくうんさん じょううんじ
白雲山 浄運寺 寺院
浄土真宗本願寺派。前身は寺田池付近にあった禅宗寺蓮華寺と伝えられている。弘治元(1555)年に浄土真宗に改宗した。蓮華寺を現在の地へ移転し、浄土門の一向宗(浄土真宗)「浄運寺」を開基した。

←至 那珂川市